

令和4年度IBRマイエアポートクラブメールマガジン配信事業仕様書

1. メールアドレス登録件数

30,000件以下

2. 機能

(1) 受信者の登録・退会方法

- ・ 受信希望者が、携帯電話から登録用メールアドレス、情報変更及び退会用メールアドレスに空メールを送信することにより、登録用フォームURL（及び変更・退会用ページURL）付きメールが返信され、登録（変更・退会）ができること。
- ・ 登録（退会）後は、完了メールを送信することができること。
- ・ 登録用フォームを管理画面から作成できること。
- ・ デザインテンプレートから登録用フォームのデザインを選択可能なこと。
- ・ 登録済みのフォームを項目の内容も含めてコピーする機能を有すること。
- ・ 登録時のメールアドレスで、形式が無効なメールアドレスのチェックが行えること。
- ・ 登録時に会員のUser agent（端末情報）の取得が可能であり、かつ登録されたUser agent（端末情報）を基に自動的にスマートフォンか否かを判別が行えること。
- ・ 登録を許可（又は禁止）するドメインを事前に指定することが可能なこと。
- ・ 重複メールアドレスのチェックが行えること。

(2) 配信管理機能

- ・ 24時間365日の稼働が行えること。ただし、修繕・保守の場合はこの限りではない。
- ・ 送信するメールの件名と本文の登録ができること。
- ・ メール本文から機種依存文字を検出し、機種依存文字を表示できること。
- ・ 10分単位での時間指定による予約配信、又は即時配信ができること。
- ・ 1時間以内に各携帯キャリアに対し、docomo 50万通、au 50万通、SoftBank 10万通以上のメール配信性能を有すること。
- ・ 全携帯キャリアの迷惑メール対策（大量配信制御）を考慮したメール配信が行えること。
- ・ 配信する対象に応じて管理者アカウントが発行できること。
- ・ 配信する管理者がアカウント（ID）で許可された対象以外への配信を行えないようにできること。
- ・ 複数の条件により送信対象者の絞り込みができること。
- ・ 配信設定時にスマートフォン対象者に絞りこんで配信が行えること。
- ・ 配信するメールは、取得する属性項目の情報を差し込むことができること。
- ・ 属性項目の情報の差込後の本文をプレビュー表示する機能を有すること。
- ・ 配信済みのメール件名、本文、配信の抽出条件、配信件数を表示することができること。
- ・ メールの件名及び本文の配信テンプレートを作成できること。
- ・ 配信テンプレートの編集ができること。
- ・ 関係者のみへのテスト配信ができること。
- ・ メール配信を行う前に、FROMアドレス、メール件名及び本文（以下、総称して「メール文」という）の内容を承認者が承認しなければ配信できない仕組みを有すること。

- ・ 配信希望者は自分の必要とする情報カテゴリーを任意に複数登録することができること。
- ・ 配信不可となったメールアドレスの確認ができ、再送しても届かないことが明確なエラー（ユーザ不明・ホスト不明・受信拒否のエラー）になったものは、自動的に配信対象からはずれる仕組みであること。
- ・ 再送した場合、届く可能性のあるエラーは、以後の配信でも配信対象として含めること。
- ・ 絵文字を携帯キャリア毎に自動的に変換できること。
- ・ 携帯キャリア毎に作り分けることなくデコメールを作成可能なこと。
- ・ 定期的に自動配信されるメール（イベントメール）が配信可能なこと。
- ・ メール本文作成中に文字数、記事サイズを確認することができること。
- ・ 配信したメール文に記載したURLの反響をカウントし、クリックした人のメールアドレスとクリックされた時間、回数、URL、User agent（端末情報）のレポートがCSVファイルで取得できること。
- ・ PC宛に配信したメール文に記載したURLからのコンバージョン率を集計し、結果がCSVファイルで取得できること。

（3） 操作権限管理機能

- ・ メール配信システムは、グローバルIP アドレスにより管理画面へのアクセス制限を設定することが可能なこと。
- ・ メール配信システムへのログイン時には、ID、パスワードにより認証がかけられること。
- ・ メール配信システムの管理者は、複数設定することが可能で、管理者単位に配信可能な対象データ、個人情報閲覧権限及び使用可能機能の設定が行えること。
- ・ 管理者のアクセスログ（誰が・何時・何をした）が管理画面上で確認できること。
- ・ 管理者権限の追加・削除を行うことができること。
- ・ 管理者は3階層以上の設定が行えること。
- ・ 1サービスで100種類以上のメールマガジンが運用できること。

（4） 登録者管理機能

- ・ 登録者情報へのアクセス権限を与えられた管理者は、CSVファイルにて登録者情報の一括登録、一括ダウンロードが行えること。
- ・ 登録用フォームで設定する項目は「必須」「任意」の設定ができること。
- ・ 空メール利用時は登録用フォームにアクセスした際にメールアドレスが入力済みの状態にできること。
- ・ 登録者情報の検索は、複数条件を基準に絞り込んで検索することができること。
- ・ データベースに蓄積された登録者は、携帯キャリア毎に識別することができること。
- ・ CSVファイルによる登録者の追加・変更・削除ができること。
- ・ 配信対象グループ数を100以上持つことができること。
- ・ iPhone用メールアドレス(i.softbank.jp)を携帯用メールアドレスに含めることができること。

（5） アンケート機能

- ・ アンケート項目は、文字列／数値／日付／都道府県／姓名／郵便番号／電話番号／パス

ワード／ラジオボタン／セレクトボックス／チェックボックス等の設定が可能であること。

- ・ アンケート結果はCSV 形式にてダウンロードを行うことができること。

(6) その他

- ・ メール配信システムにおけるバージョンアップの連絡事項は、メールによる告知及び管理画面に表示するようになっていること。
- ・ メール配信システムの停止を伴わないバージョンアップの連絡は最低1週間前に、メール配信システムの停止を伴うバージョンアップの連絡は1ヶ月以上前に告知すること。
- ・ メール配信システムのマニュアルが管理画面上から閲覧でき、ダウンロードすることができること。
- ・ 登録用フォーム数やメール配信数による従量課金プランと、登録済みレコードに応じて課金する課金プランの2種類の料金体系を有すること。
- ・ ログアウトが可能であること。
- ・ 地方自治体で50件以上の導入実績があること。
- ・ メール配信システムを10年以上継続して提供している実績があること。

3. 運用、保守、セキュリティ

(1) 機器設置場所

- ・ サーバの設置場所はデータセンターとし、電源等の設備は冗長化を行うこと。
- ・ 機器の設置場所は厳重な入退室管理を行い、第三者によるアクセスができないこと。
- ・ 免震構造または耐震構造のデータセンターにてメール配信システムの運用が行われていること。

(2) サーバについて

- ・ サーバのOS は、LINUX 系とする。
- ・ メール配信システムで利用するサーバは冗長化構成等により、可用性を実現すること。
- ・ ファイアウォールを設置することで、不要な通信の監視、遮断を行うこと。
- ・ ウェブサーバは2048ビットSSL 対応とする。
- ・ メール配信サーバは、一定期間登録者のデータのバックアップを行い、障害時にデータを復旧させることができる体制をとること。

(3) 運用サポートについて

- ・ メール配信システムの管理者からの質問に対応するヘルプデスクを平日の8時30分から17時まで開設すること。